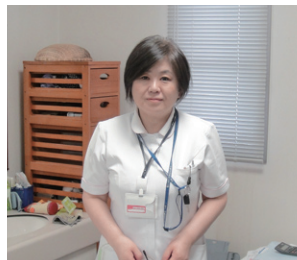


手厚い 看護 が さらに充実

看護部長 鈴江 智恵



はじめまして。鈴江智恵と申します。

今年4月から看護部長を拝命し、身の引き締まる思いです。

さて、今回この病院新聞「さくら」で看護局を紹介する機会をいただきました。是非、皆様

に当院の看護サービスについてご紹介したいと思います。

看護局は、約560名が働いています。そのほとんどは交替勤務をしていますが、なかには子育てのため短時間で働いている人、夜勤はできないので臨時職員として働いている人など働き方は多様です。しかし、各々が看護職の免許をもって、地域医療に貢献したいという熱意を持って働いています。

看護師の配置数は、日本の多くの病院が10対1の看護体制ですが、当院の一般病棟はいわゆる「7対1看護」です。これは看護師1人につき、入院患者が7人という割合で配置していることです。ならば夜間に看護師がもっと多く配置されているはずと、皆様は不思議に思われているかもしれません。しかし、この割合は24時間いつもいるという意味ではなく、検査や手術などケアの多い時間、休日よりも平日に7対1以上の看護職を配置してよいことになっているからです。ただし集中治療部門では24時間、患者2人に対して看護師が1人を配置しています。

この「7対1」は看護配置で今のところ最高ランクで、当院はこの承認を今年4月に受けることができました。圏内の自治体病院では、初めて承認を受けたのですが、看護師数を維持していくことは難しく、子育て、介護などの理由で離職してしまう人が少なくありません。せっかく資格があっても働いていない看護師は全国に約55万人いるとされ

ていることから分かります。

こうした状況にありながら、当院の看護体制が高く評価されたことは喜ばしいのですが、当然、今後は看護サービスの質が問われると覚悟しています。最近では特にいろいろな専門の職種がチームを作って医療にあたる「チーム医療」をしっかりとやっているかということに視点を向けられています。その中で看護師は専門職としての役割を担えているのかということをご自身で問い続けることが必要だと思っています。

現在、当院には日本看護協会の認定看護師は7名おりますし、今年度にはさらに2名が増える予定です。また学会認定の糖尿病関連の資格取得者も多くいますので、それぞれが専門分野で地域医療に貢献できる状況です。また、産婦人科の病棟・外来をすべて助産師で構成している病院は非常に少ないと思いますが、当院ではそれを行っています。産婦人科病棟には32名の助産師がおり、分娩だけでなく、外来でも助産師による保健指導を充実させています。

このような恵まれた環境だからこそ、看護師一人ひとりが当院の役割をしっかりと果たすことが必要だと思っています。急性期病院の看護師の役割は、当院から地域へ療養の場が移っても、生活調整者として、患者さんがお困りになることがないように援助することです。そして、患者、家族の方々、地域のヘルスケアサービス提供者との相互作用のなかで仕事にやりがいを感じていくのだと考えています。そして地域の皆様から信頼されられるよう頑張っていきますので、皆様ご支援くださるようお願いいたします。

平成24年
夏号

NO.18

平成24年7月1日

春日井市民病院

『糖尿病フットケア外来』

『糖尿病フットケア外来』を開設しております。

専門の看護師によるフットケア指導や、肥厚した爪のケア、魚の目、たこ、角質などのケアを行っております。

毎週水曜日（午後）・金曜日（午前）

完全予約制。（保険診療）

お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：糖尿病センター



「薬と食べ物」のはなし

薬の歴史は古くもあり新しくもあります。最近では科学の進歩により、錠剤を服用するだけで、これまで注射でしか期待できなかったような効果を発揮する医薬品が出てきました。しかし、なんでも「飲み込めば」薬の効果が出るわけではありません。薬を効果的に使うにはいくつかの作法が必要な薬があり、その作法の一つに飲み物や食べ物との関係があるものがあります。

今回はその中の一つ、骨粗鬆症の治療薬について書いてみたいと思います。

■服用した薬が効果を発揮するために最低限必要なこと

実は、薬は飲んだだけでは効果を発揮しないのです。効果を発揮するために最初に必要となることは「薬が吸収されること」です。食べ物もそうですが、吸収されることで初めて体の中に入り、全身に運ばれて効果を発揮するのです。

■吸収が飲み物の種類で邪魔されることがある医薬品

食べ物や飲み物によって薬の吸収率が変化することは良くあることです。薬の中に多くはありませんが、効き目を左右するほど影響をうけるものがあります。

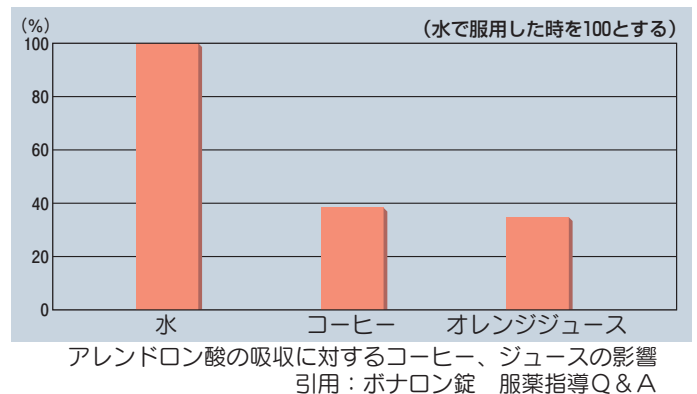
アレンドロン酸ナトリウム水和物という骨粗鬆症の治療薬は、服用方法に「起床時すぐに水で服用」等と書かれています。この薬は水以外で服用すると“がくん”と効果が悪くなる薬のひとつです。なぜでしょうか。

■その理由は・・・

もともとこの薬は吸収されにくい薬ですが、薬と一緒にカルシウムやマグネシウムが存在すると、薬とカルシウムなどがくっついて、吸収されにくくなるのです。例えばカルシウムやマグネシウムを多く含むコーヒー等で服用すると、図のように吸収される薬が半分以上になってしまいます。このため服用方法に「水で服用」と書かれているのです。

みなさんの大事なお金で賄われている医療費。薬も正しく服用して、十分な効果を得られるようにしたいものです。

吸収性比率



水で服用する必要がある骨粗鬆症治療薬（2012年3月調査）

一般名	医薬品名（販売名）
アレンドロン酸ナトリウム水和物	フォサマック錠®、ボナロン錠®（その他後発医薬品多数）
リセドロン酸ナトリウム水和物	アクトネル錠®、ベネット錠®（その他後発医薬品多数）
ミノドロン酸水和物	ボノテオ錠®、リカルボン錠®

Information

糖尿食・腎臓食 体験栄養教室のご案内

開催日	糖尿食…平成24年7月10日(火)、8月14日(火)、9月11日(火)、10月9日(火) 腎臓食…平成24年7月19日(木)、8月16日(木)、9月20日(木)、10月18日(木)
時間	正午から60分程度(午前11時50分から受付)
場所	栄養指導室(病棟1階)
対象	当院で糖尿病又は腎臓病の治療を受けている人
定員	各回5人(先着順) ※付添いは1人につき1人まで可(付添いの方のみの参加は不可)
費用	500円(食事代1人分) + 保険診療自己負担分(80円~390円)
申込み	診察時に医師にお申し出ください

問い合わせ先 栄養管理室

運動教室のご案内

通院もしくは入院の患者さんの付添い、又は面会の方で待ち時間などを有効利用し、日頃の運動不足を解消しませんか？
週1回、15~20分程度の簡単な内容で運動教室を開催しています。ぜひご参加ください。
運動内容は、健康運動指導士が指導いたします。

開催日：毎週火曜日 ①10:00 ②10:30 ③11:00 ④11:30

問い合わせ先 看護管理室

洗濯物を取り入れる時などに蜂に刺されたことがある方は多いと思いますが、痛いですが、ただ痛いだけでなく、驚くことに蜂に刺されて年間30人ぐらいの人が亡くなっています。8月も終わり秋の気配を感じ始めると蜂は巣が大きくなって仲間も増え、攻撃的になってきます。8月から11月位までは注意が必要です。とくに怖いのはスズメバチです。非常に攻撃的で注意が必要です。スズメバチは攻撃対象だとみると近くを飛んだり、「カチカチ」というような音を出して威嚇します。威嚇行動がわかったら危険ですのでそこから離れるようにしてください。また、スズメバチは色や匂いに敏感で、匂いの強い香水も攻撃の対象になります。黒は天敵のクマと同じ色なので要注意です。ですから黒い服だけでなく、頭や目も危険です。運悪く攻撃されて、大声を出したり、手で振り払うとさらに蜂が興奮して集団で攻撃される可能性がありますので注意してください。できるだけ低い姿勢で静かに離れるようにしましょう。もし、運悪く刺された時は、すぐに毒を絞り出し（口で吸い出さず、指でつまって絞り出す）、良く水で洗って冷やします。抗ヒスタミン軟膏やステロイド剤などを塗ってください。通常は刺された部位に発赤、熱感、腫れなどの症状が出るだけですが、全身症状（蕁麻疹、顔面の腫れ、吐気、嘔吐、呼吸困難、動悸等）が出たら、すぐに病院を受診して下さい。一番怖いのはアナフィラキシーショックです。特に一度刺されたことのある人は2度目が要注意です。アレルギーの危険が高い方には「エピペン」という薬が処方できるようになりました。医師に相談してください。



ありがとうございました



市内の障害施設などで、プロ演奏家によるコンサートを企画実行するボランティアグループ「グループ 結(ゆい)」(代表 梶田峰子)から、野中ひろみ作の裂織作品「透光」(120万円相当)をご寄付していただきました。心・身体が疲れている人に少しでも心が軽くなってもらえたら幸いというお話いただきましたので7階の「がん相談支援センター」に展示させていただきました。過去にもコンサートや車椅子、絵本などのご厚意をいただいています。ありがとうございました。

【グループ 結】

春日井市西山町、のどかな田園風景に囲まれて古民家風の「ギャラリーゆんたく」があります。一流の作家の作品を展示したギャラリーには多くの人々が集まります。オーナーの梶田峰子さんの人柄に集まった人たちで「グループ結」の活動が始まりました。皆さんも一度、のぞいてみてはいかがでしょうか？

連絡先

春日井市西山町 4-10-13 ギャラリーゆんたく
Tel:0568-84-5116 E-mail:jit_yntak@yahoo.co.jp

おいしいパン「元気ショップ」

平成24年6月4日(月)から市民病院 1階中央ホールにて、心を込めて作った焼きたてパンなどを販売する「元気ショップ」がオープンしました。とてもおいしいですよ！ご利用ください。

* 1時間ほどで売り切れになることがあります。

曜日	時間	販売事業者	販売品
月曜日	11:30~13:30	ワーカー鷹来	パン
水曜日	11:30~13:30	なかぎりワークス	パン
金曜日	11:30~13:30	ワーカー鷹来	パン



第30回

市 民 公 開 講 座

が6月9日に開催されました

講演1 「婦人科のがんについて」

市民病院 産婦人科第2部長 下村 裕司

講演2 「婦人科の漢方薬治療について」

市民病院 産婦人科部長 早川 博生

59名の方が参加されました。講演後のアンケートで「がん検診の必要性を感じた」「漢方薬の話は聞く機会が無く、非常に興味深かった」「漢方薬治療を試してみたい」など、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。次回は9月に呼吸器科で予定しています。多数のご参加をお待ちしています。

「子宮頸がん」は検診で早期発見可能です。ごく初期に発見できれば子宮を温存することも可能です。子宮がん検診を定期的に受けていただくようにお願いします。

漢方薬についてのご相談は、市民病院 薬剤部で受け付けています。お気軽にご相談ください。担当者が不在の場合もございますので、お電話かメールにてお問い合わせいただければ幸いです。

春日井市民病院 薬剤部 医薬品情報室 坂田 洋
Tel : 0568-57-0057 内線2107
E-mail : sakata@hospital.kasugai.aichi.jp

がん相談支援センターのご紹介

がんの治療を行っている方にはいろいろな疑問があると思います。当院では、がんに関するいろいろな相談にのるために、がん相談支援センターを設置しました。がんそのものに対する知識を深めることはもちろん、治療法に対する疑問あるいは闘病生活に対する不安、薬や痛みに関すること、治療中の日常生活、治療費と介護、心理療法、かつらや下着について、入院に際してや退院後の生活、ふだん主治医にはなかなか言えないこと・聞けないこと、などなんでも相談して下さい。

申し込み方法

毎週月曜日から金曜日 9:00～16:30（祝日は除く）
電話 0568-57-0684（直通）



公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定が更新されました。

認定期間 平成23年12月17日から平成28年12月16日まで
発行日 平成24年4月6日

病院が質の高い医療を安全に提供しているなど、病院に必要な機能についての多くの項目で一定の基準を満たしているかを、第三者機関である公益法人日本医療機能評価機構が中立的な立場で書面審査と訪問審査によって評価を行い、認定が更新されました。

節 電 対 策 に つ い て

今年の夏も全国的に電力不足が懸念されていることを受けて、市民病院でも節電対策を行います。基本的には患者さんには影響のないような方法で行いますので、ご安心ください。

節電期間：平成24年5月14日(月)～10月31日(水)



<http://www.hospital.kasugai.aichi.jp/>

〒486-8510 愛知県春日井市鷹来町1-1-1
TEL 0568-57-0057(代)
予約専用電話 0568-57-0048
予約受付時間 9:00～15:00（休診日を除く）

さくら 平成24年夏号
発行日 平成24年7月1日
発行元 広報委員会